

【技術分類】 1－2－1 遊技内容／遊技ルール／基本ルール

【技術名称】 1－2－1－1 ベット・クレジットに関するルール

【技術内容】

「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(以下 風営適正化法)」上においては、「1 ゲームあたりのメダル投入(ベット)枚数は、3枚を超えてはならない(風適法第20条に基き国家公安委員会が定める「遊技機の認定及び型式の検定に関する規則」第6条2号の別表第5(以下、「別表第5」とする)(1)性能に関する規格内「イ」参照)」(3枚以下なら投入可能)と定められている。

また、遊技メダルを投入した後は、「リールが始動してから全てのリールが停止し、結果(役の入賞・非入賞)が確定するまでは、新たにメダルを投入してはいけない(別表第5(1)内性能に関する規格内「イ」参照)」と定められている。

<クレジットに関するルール>

国家公安委員会が定める「遊技機の認定及び型式の検定に関する規則」上では、記憶できる枚数は50枚以内とし、記憶している枚数を表示し、遊技者が任意で取り出す(払い出す)事が出来る機能を有するものとする。(別表第5(1)内性能に関する規格内「チ」参照)

【図1】ベット・クレジット



出典：刊行物名：「パチスロ必勝ガイド MAX 2月号増刊 パチスロ必勝ガイド攻略年鑑 2003」、発行年月日：2003年2月1日、編集人：吉良誠二、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房
発行、出典箇所：56～57頁
を元に改変

【出典機種】

猛獣王^{※1}：サミー株式会社

【参考資料】

刊行物名：「四訂版 風営適正化法関係法令集」、発行年月日：2004年10月5日、発行人：星沢哲也、発行所：東京法令出版株式会社発行

※1「猛獣王」：サミー株式会社の登録商標

【技術分類】 1－2－1 遊技内容／遊技ルール／基本ルール

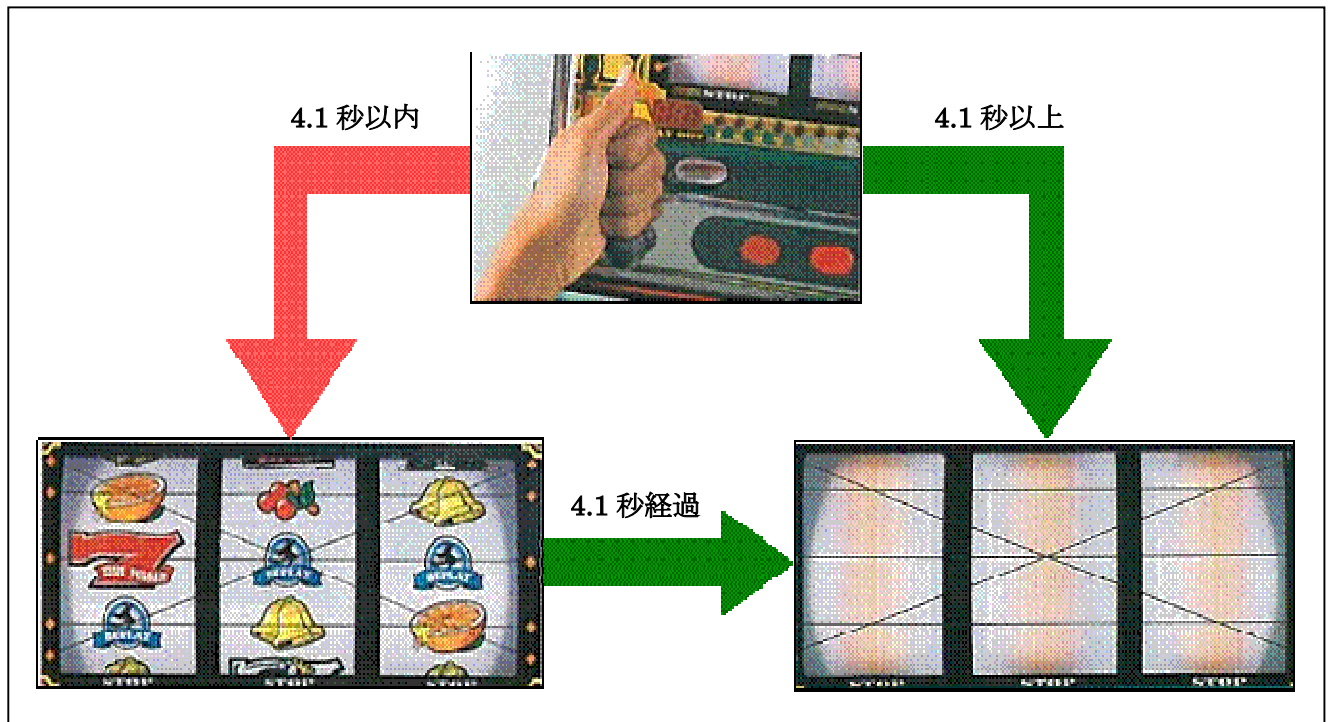
【技術名称】 1－2－1－2 スタートに関するルール

【技術内容】

風営適正化法内の「著しく射幸心をそそるおそれのある遊技機の基準」に沿って定められている「1分間に概ね400円の遊技料金相当する数を超える数の遊技メダル」（風適法第7条内「回胴遊技機」）の条文に抵触しないように、遊技の消化速度に関しては概ね、1ゲームあたり「4.1秒以上」となっている。

なお、遊技者が4.1秒以内に次ゲームを開始させるためにスタートレバーを始動させると、BETボタン、レバーの入力自体は受け付ける（4.1秒経過後に自動的にリールの始動は行なわれる）が、それ以外の入力（メダルの投入含む）を受け付けない間を「ウェイト」と呼ばれ、この間にウェイト時間の告知などの演出等が発生する機種も存在する（1－5－1「ウェイト」参照）。

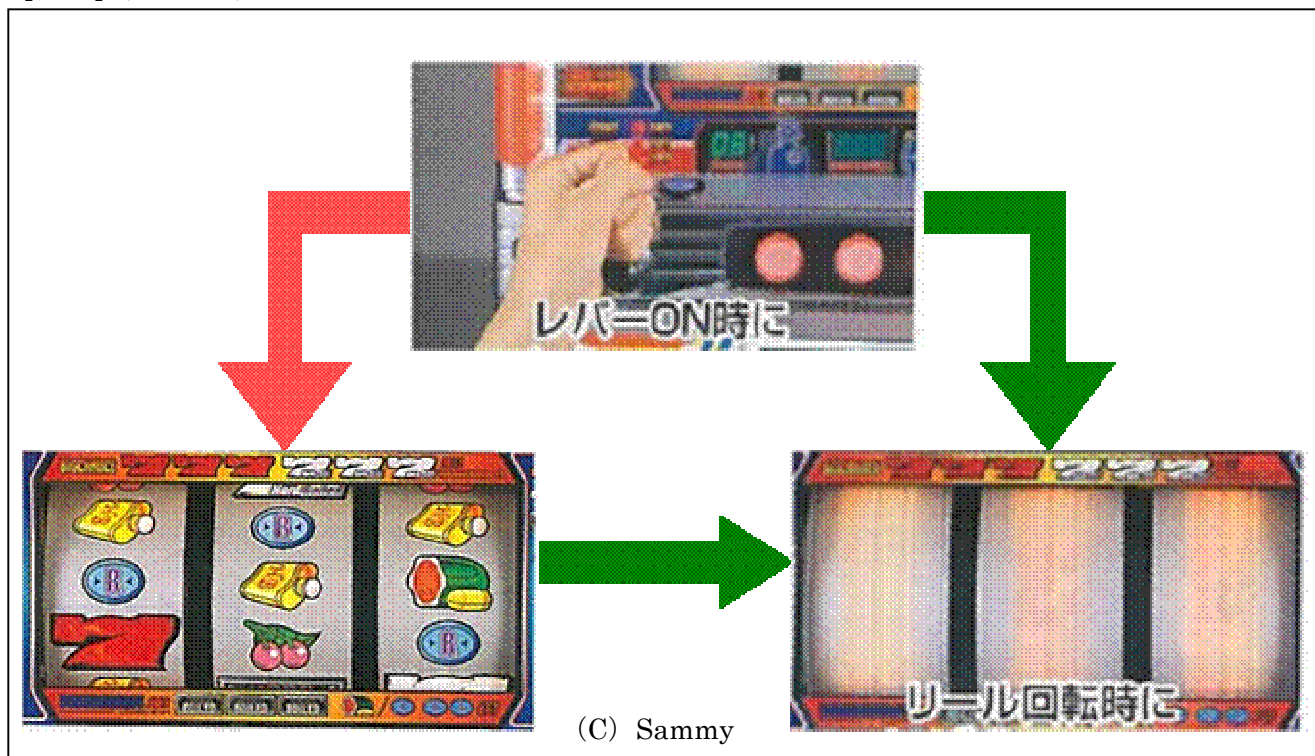
【図1】ウェイト例1



(C)YAMASA

出典：刊行物名：「パチスロ必勝ガイド MAX 2月号増刊 パチスロ必勝ガイド攻略年鑑 2002」、発行年月日：2002年2月1日、編集人：吉良誠二、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所 7～9 頁

【図2】 ウェイト例2



出典：刊行物名：「パチスロ必勝ガイド MAX 2月号増刊 パチスロ必勝ガイド攻略年鑑 2002」、発行年月日：2002年2月1日、編集人：吉良誠二、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所 48,49,53 頁

【出典機種】

キングパルサー※1：山佐株式会社
ハードボイルド2：サミー株式会社

【参考資料】

刊行物名：「三訂版 風営適正化法関係法令集」、発行年月日：2002年8月20日、発行人：星沢哲也、発行所：東京法令出版株式会社発行
刊行物名：「四訂版 風営適正化法関係法令集」、発行年月日：2004年10月5日、発行人：星沢哲也、発行所：東京法令出版株式会社発行

※1 「キングパルサー」：山佐株式会社の登録商標

【技術分類】 1－2－1 遊技内容／遊技ルール／基本ルール

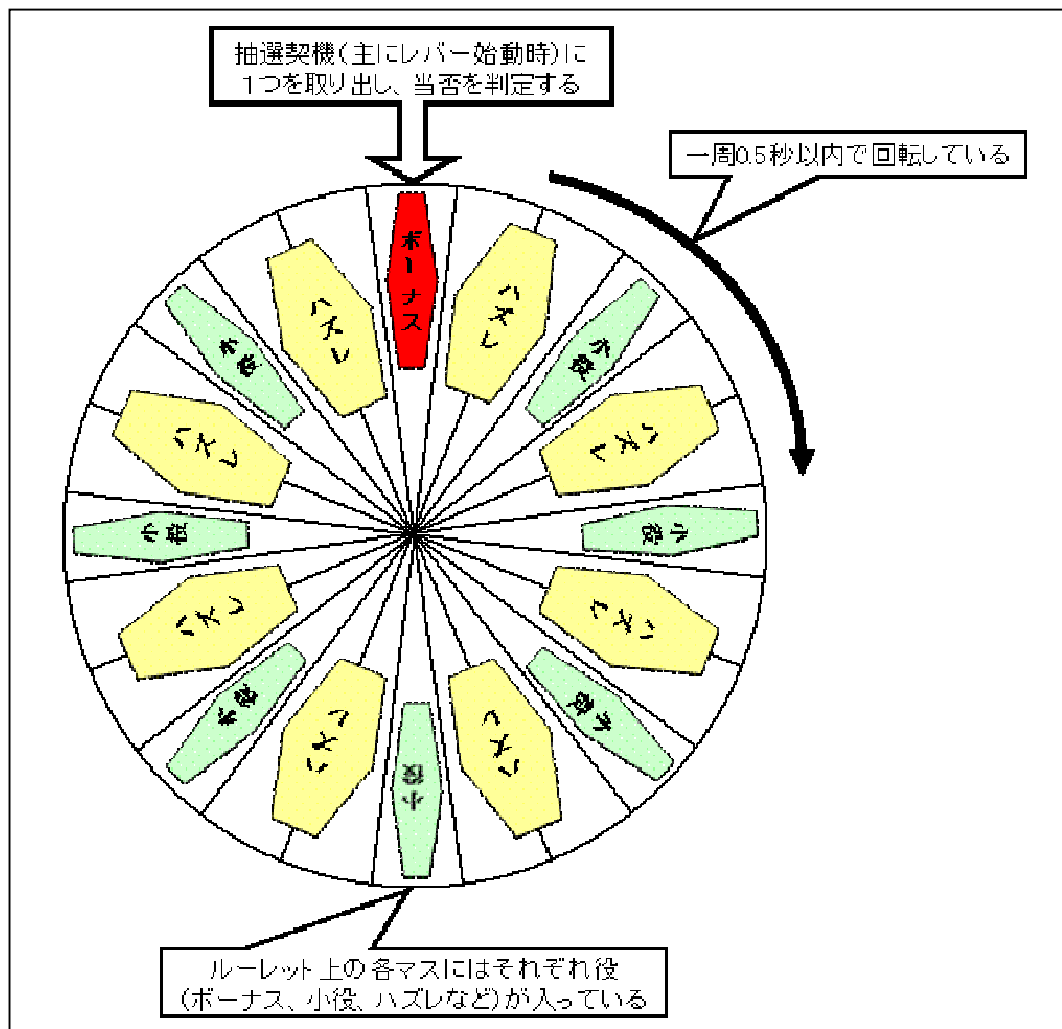
【技術名称】 1－2－1－3 抽選に関するルール

【技術内容】

パチスロにおける役の抽選は基本的に「完全確率抽選（1－4－1－1「完全確率抽選」参照）」で行なうこととなっている。抽選の仕組みとしては、スタートレバー始動時に並べられた数値の中からランダムに任意の数値を取り出すというもの。各数値は予め機種ごとに定められた役と対応しており、当否の判定を行なう。また各役の当選確率には規制（1－2－2「役の種類」内の各役を参照）が設けられ、設定（1－2－1－5「設定の概要」参照）によっても切り替えることが可能である。

なお、風適法第20条に基き国家公安委員会が定める「遊技機の認定及び型式の検定に関する規則」第6条2号の別表第3（以下、「別表第3」とする）内（2）主基盤に装着される電子部品に関する規格内「ハ」では周期に関して「1周0.5秒以内」もしくは「規則的で当せん機械を容易に推定できない」と定められている。

【図1】 抽選の流れ



出典：本標準技術集のために作成

【参考資料】

刊行物名：「四訂版 風営適正化法関係法令集」、発行年月日：2004年10月5日、発行人：星沢哲也、発行所：東京法令出版株式会社発行

【技術分類】 1－2－1 遊技内容／遊技ルール／基本ルール

【技術名称】 1－2－1－4 リールに関するルール

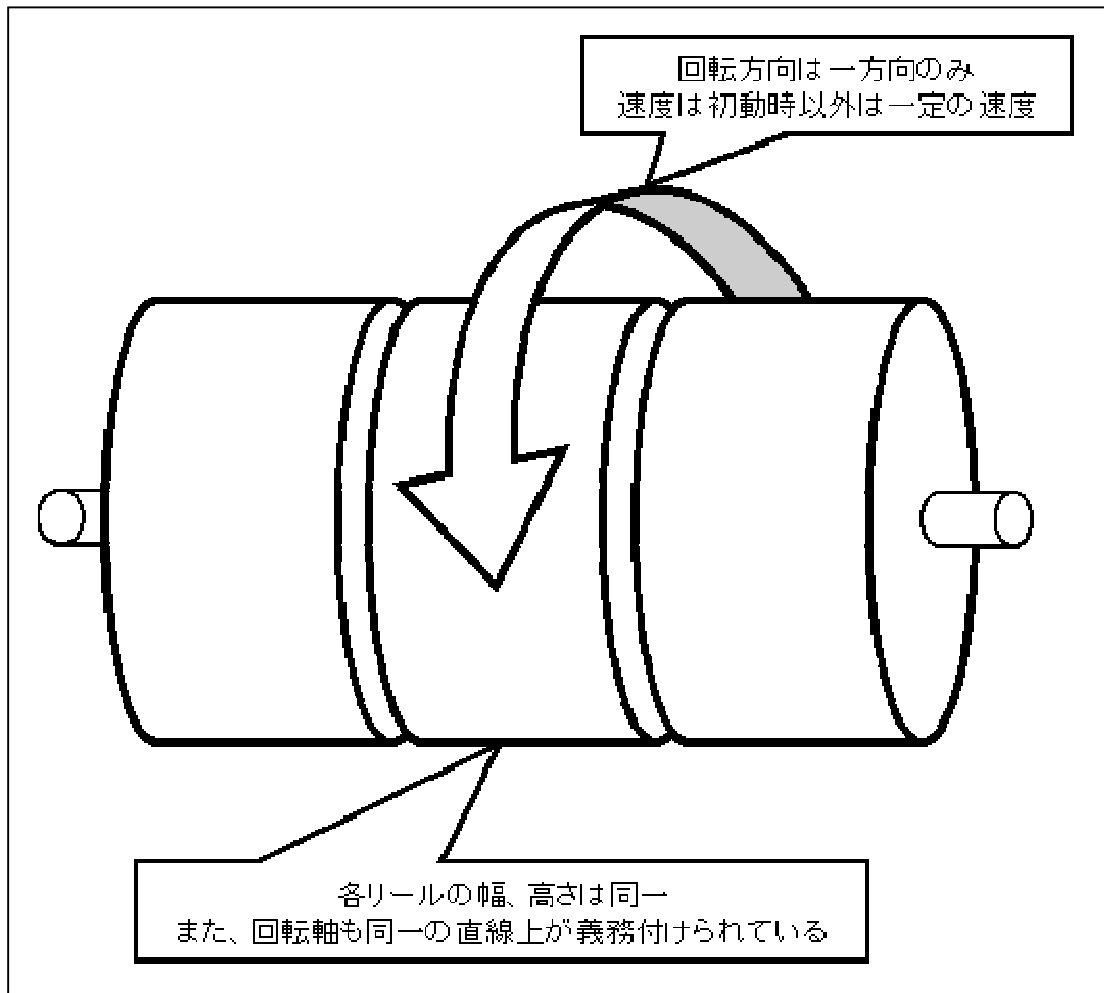
【技術内容】

リールは3本以上搭載しなくてはならず、各リールの大きさは同一とされている。また、図柄に関しては縦 25mm、横 35mm以内とし、1つのリール上に 21 個以内、且つ全てのリールに付き同一数とする。また、図柄の種類に関しては1機種あたり 10 種類以内と定められている（以上、別表第 5（2）構造に関する規格内「ロ」参照）。

＜リールの始動に関するルール＞

リールの回転は一定方向（主に手前下）のみとし、回転速度は1分間に 80 回転以内で一定の速度を保つものとする。ただし、リールが回転し始めてから、前述の一定の速度に達するまではこの限りではない（別表第 5（1）内性能に関する規格内「イ」参照）。

【図 1】 リールの仕組み



出典：本標準技術集のために作成

＜リールの停止に関するルール＞

全てのリールが一定の速度に達するまでは全ての操作を行えないものとし、それ以降も任意にストップボタンを操作しない限り、リールが一定の速度に達した後、30 秒以内に自動停止しないものとする。なお、ストップボタンを操作したのちには、0.19 秒以内に停止するものとする（以上、別表第 5（1）性能に関する規格内「イ」参照）。

※ 前頁の理由から、リールのスベリ（ストップボタンを押した箇所から実際に停止する箇所のズレ）は最大 4 コマとなる（最大 1 秒あたり約 28 コマ《60 秒間 80 回転》回転でき、ストップボタンを操作した後、0.19 秒以内に停止を行なうため、5 コマ以内《 $0.19 \times 28 = 5.32$ 》の停止が余儀なくされる。よって、規則上、最大速度で回転を行っていたとしても、停止図柄を含めて考えると 4 コマ以内に停止を行なわなければならない）。

【図 2】図柄と配列



出典：刊行物名：「パチスロ必勝ガイド MAX 2 月号増刊 パチスロ必勝ガイド攻略年鑑 2006」、発行年月日：2006 年 2 月 1 日、編集人：吉良誠二、発行人：末井昭、発行所：株式会社白夜書房発行、出典箇所 124～125 頁

【出典機種】

雷蔵伝^{※1}：株式会社平和

【参考資料】

刊行物名：「四訂版 風営適正化法関係法令集」、発行年月日：2004 年 10 月 5 日、発行人：星沢哲也、発行所：東京法令出版株式会社発行

※1 「雷蔵伝」：株式会社平和の登録商標

【技術分類】 1－2－1 遊技内容／遊技ルール／基本ルール

【技術名称】 1－2－1－5 設定に関するルール

【技術内容】

「設定」とは後述（1－2－2「役の種類」参照）する各役の内部当選確率に格差を持たせることを指し、設定ごとの（予想）出玉率を台毎に変更させて差別化を行なう機能のことである。

設定差は主にボーナスの内部当選確率に高低差を設けることで、出玉率の格差を生じさせている機種が主流となっているが、小役等の当選確率にも高低差を設けている機種も複数存在する。

設定は最大で6段階までの搭載が可能と定められている（別表第5（1）性能に関する規格内「リ」参照）。なお、規則では「設定の数は、六を超えるものでないこと」とし、つまり、最大で6段階までの設定を搭載可能と定められているが（別表第5（1）性能に関する規格内「リ」参照）、それ以上の細則は定められていない。

【図1】 設定

ボーナス名			
	ビッグボーナス	レギュラーボーナス	出玉率
設定1	1/280	1/570	84.0%
設定2	1/275	1/520	97.0%
設定3	1/270	1/510	100.0%
設定4	1/260	1/500	103.0%
設定5	1/250	1/480	105.0%
設定6	1/240	1/480	110.0%

設定段階
※ 確率はA-400タイプ(1－2－3－1Aタイプを参照)としての標準的な数値

出典：本標準技術集のために作成

【参考資料】

刊行物名：「四訂版 風営適正化法関係法令集」、発行年月日：2004年10月5日、発行人：星沢哲也、
発行所：東京法令出版株式会社発行